

地域新電力×再エネ

株式会社かみでん里山公社 (加美町)



加美町は平成30年4月、パシフィックパワー株式会社との共同出資により、地域新電力会社「株式会社かみでん里山公社」を設立し、地域でつくられた電気を地域で有効活用する取り組みを行っています。



地域新電力とは…(※4)

地域内の発電電力を最大限に活用し、地域内の公共施設や民間企業、家庭等に電力を供給する小売電気事業を「地域新電力」といいます。

地域新電力への転換により、電気代を下げたり、エネルギーの地産地消を進めたりするメリットがありますが、それに留まらず、地方創生や低炭素化(CO₂排出量の削減)の新たな担い手となることも期待されます。



株式会社かみでん里山公社 設立記者会見

平成30年4月設立記者会見の様子
(左からパシフィックパワー榎栗栖社長、株式会社かみでん里山公社牟田代表取締役、株式会社かみでん里山公社猪股代表取締役社長(加美町長)、加美町議会早坂議長(当時))

加美町では、「善意と資源とお金が循環する、人と自然に優しい町」を目指し、加美町まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げている、エネルギー自給率の向上に取り組んでいます。地域で作られた再エネ電気を地域内で使うことができ、売り上げも町出資の電力会社に入る地域新電力事業は、まさにこの理念を実現するものだと考え、取り組みを始めました。

この地域新電力の取組では、町内の太陽光発電所や日本卸電力取引所(JEPX)などから電力を調達し、町内の公共施設や民間企業などに電力を供給することにより、エネルギーの地産地消やお金の地域内循環が図られています。また、需要に合わせた電力の調達、施設ごとの電気の使い方に合わせて料金の設定などにより、電気料金が削減されています。

令和2年からは、家庭への電力供給を開始し、電気料金を削減することで地域に貢献しています。

会社の収益の一部はまちづくりに活用し、持続的に地域に還元していきます。



加美町のゆるキャラ「かみ〜ご」
(かみでんバージョン)

Keyman's VOICE

加美町企画財政課
小澤 智樹 さん

事業を進める中で、新電力会社の設立には電力関係だけでなく、会社法や出資等についての知識も必要でしたので、苦労しました。図書等で調べるほか、パシフィックパワー株式会社に相談するなど、協力し合うことで事業を進めることができました。



所在地	加美郡加美町字西田三番五番地
運営主体	株式会社かみでん里山公社 加美町 120 株 (600 万円) 66.7% パシフィックパワー株式会社 60 株 (300 万円) 33.3%
連絡先	TEL: 0800-800-5084